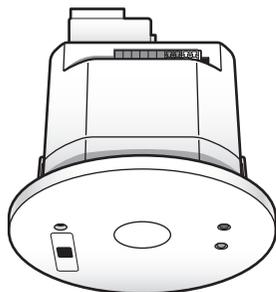


取扱説明書

PiPit/PWM 信号変換インターフェース

品番：NK23075



NK23075

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	2
各部の名前とはたらき	3
システム構成と組合せ一覧	4
設定手順と設定内容の説明	5
設定詳細（組合せA）	6～7

該当の組合せページへ

設定詳細（組合せA）

	+		+	
PiPit ハンディライコン (NK23041)		コントローラ (壁付け)		PiPit/PWM 信号変換 インターフェース

設定詳細（組合せB）

	+		+	
PiPit+ ハンディライコン (NK23091)		コントローラ (壁付け)		PiPit/PWM 信号変換 インターフェース

設定詳細（組合せC）

	+		+	
PiPit+ ハンディライコン (NK23091)		コントローラ (天井付け)		PiPit/PWM 信号変換 インターフェース

PiPit/PWM信号変換インターフェースの ペアリングを解除する	12
困ったとき	13
よくある質問	14
お手入れについて	15
安全点検について	15
仕様	16

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2ページ）を必ずお読みください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様へお渡しください。

◎上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告



分解禁止

- 絶対に分解したり修理・改造は行わない
感電や故障の原因となります。



必ず守る

- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が生じた場合は、すぐに電源を切る
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。ただちに、お買い上げの販売店
・工事店にご相談ください。

注意

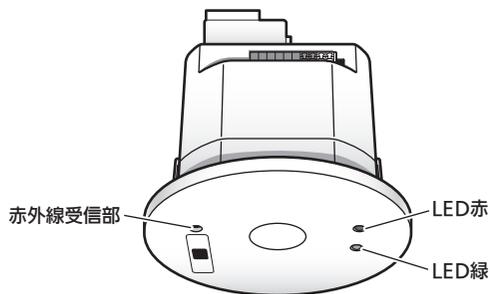
- PiPit/PWM 信号変換インターフェースには寿命があります。設置して 10 年経つと、
外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度 35℃、1 日 10 時間使用です。
点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。
1 年に 1 回は「安全チェックシート」(15 ページ参照)に基づき自主点検を行ってください。
3 年に 1 回は工事店などの専門家による点検をお受けください。

使用上のご注意

- 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- PiPit/PWM信号変換インターフェースは、PiPitシリーズの各種コントローラからの電波を
PMW信号に変えて照明器具に送ります。コントローラとペアリング設定を必ず行ってください。
- コントローラが複数台近くに設置している場合、複数台同時にペアリング設定を行わないで
ください。PiPit/PWM信号変換インターフェースが意図しないコントローラとペアリング設定
される場合があります。
- 停電などで電源が切れても既に設定した内容は消えません。電源が入ると、停電前の状態に
戻ります。
- 人命および社会的に重大な影響を与えることが予測される用途には使用しないでください。
- PiPit/PWM信号変換インターフェースが電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因に
なります。
- 送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため
PiPitシリーズの各種コントローラと本器は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。
- PWM信号線は小勢力配線ですので電源線やアースとは接触しないように離して配線して
ください。
- トランシーバー等の通信機器は、本器やPWM信号線から離してご使用ください。
雑音が入ることで正常に動作しない場合があります。

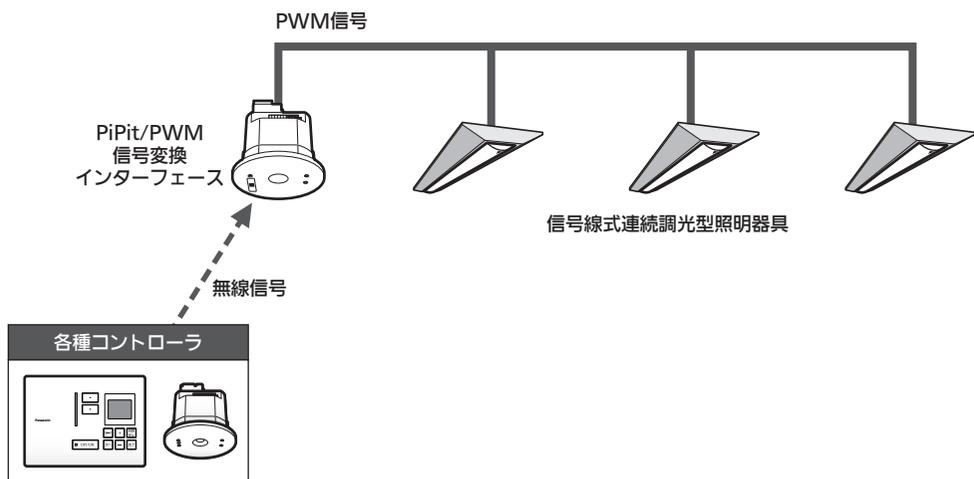
各部の名前とはたらき

■ NK23075



PiPit/PWM信号変換インターフェースの機能

各種コントローラからの電波（無線信号）を PWM 信号に変えて照明器具に送ります。

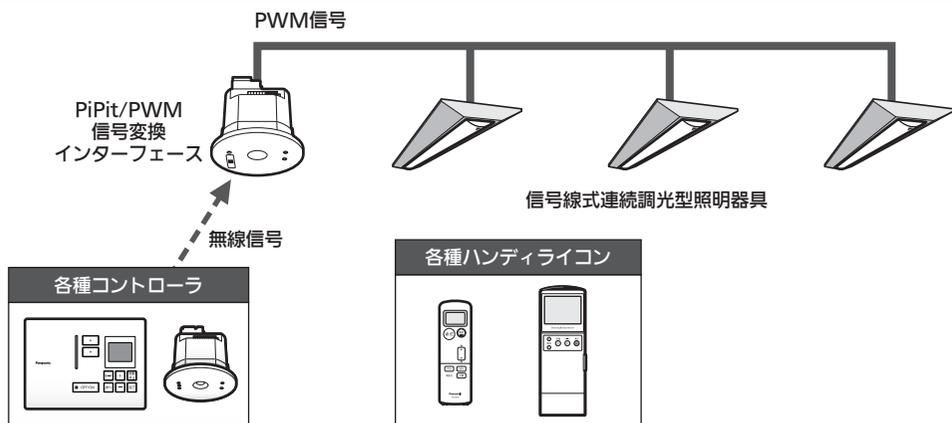


適合照明器具の起動方式

器具選択	当社製信号線式 連続調光型LED器具	当社製連続調光 インバータ器具
Hfタイプ	LZ, LA, LT, LH, LX, LY, LJ, LI	EYH, PD, PX, PY, WX
LRタイプ	LR	---
PCタイプ	LD, LV	EDH

※設定方法は、設定詳細、各組合せの「**1** PiPit/PWM 信号変換インターフェースの起動方式設定」を参照ください。

システム構成と組合せ一覧



	タイプ	品名	品番
各種コントローラ	壁付け	PiPitライコン	NQ23111
		PiPitライコン スケジュール機能付	NQ23112
		PiPit+ライコン デマンド連動機能付	NQ23151
	天井付け	PiPit+セパレートセルコンAタイプ	NQ23171Z
		PiPit+セパレートセルコンAタイプ (直付)	NQ23185K
変換器	天井付け	PiPit/PWM信号変換インターフェイス	NK23075
各種ハンディライコン	-	PiPitハンディライコン	NK23041
		PiPit+ハンディライコン	NK23091

※変換器（天井付け）と各種コントローラ（天井付け）は、赤外線受信部近くにあるシールの有無で識別してください。

●組合せにより設定方法が変わります。必ず、以下の該当ページを参照して設定してください。

組合せA 設定詳細：P5・P6～P7参照

PiPit
ハンディライコン
(NK23041)

コントローラ
(壁付け)

PiPit/PWM
信号変換
インターフェイス

組合せB 設定詳細：P5・P8～P9参照

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)

コントローラ
(壁付け)

PiPit/PWM
信号変換
インターフェイス

組合せC 設定詳細：P5・P10～P11参照

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)

コントローラ
(天井付け)

PiPit/PWM
信号変換
インターフェイス

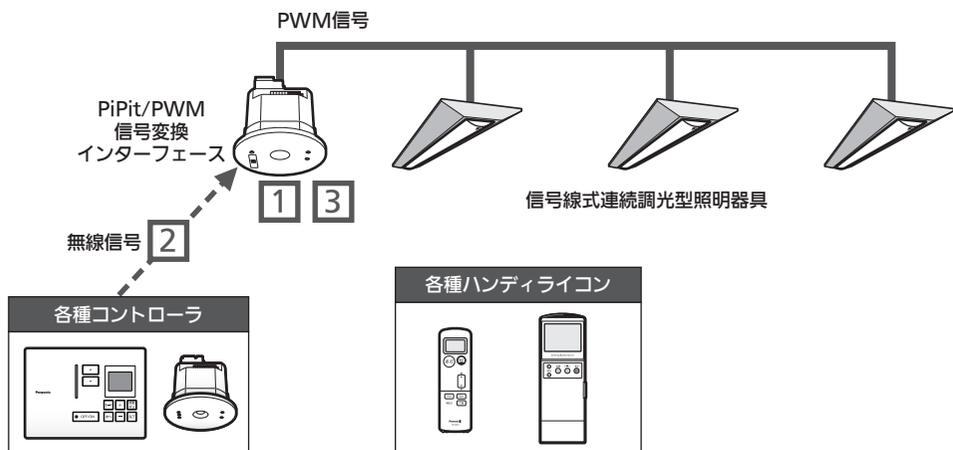
この組合せでの設定はできません

PiPit
ハンディライコン
(NK23041)

コントローラ
(天井付け)

PiPit/PWM
信号変換
インターフェイス

設定手順と設定内容の説明 (組合せA・B・C共通)

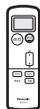


- 1 PiPit/PWM信号変換インターフェイスの起動方式設定**
PiPit/PWM信号変換インターフェイスに起動方式設定を行います。
- 2 コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェイスのペアリング設定**
コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェイスのペアリング設定を行います。
- 3 PiPit/PWM信号変換インターフェイスのペアリング確認**
PiPit/PWM信号変換インターフェイスのペアリング確認を行います。

※引き続き、各種コントローラの取扱説明書を参照して設定を行ってください。

組合せA

PiPit
ハンディライコン
(NK23041)



コントローラ
(壁付け)

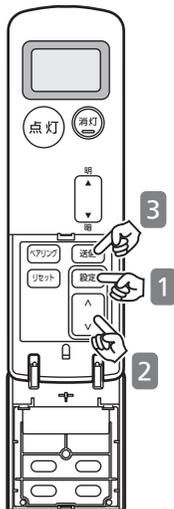


PiPit/PWM
信号変換
インターフェース



1 PiPit/PWM信号変換インターフェースの起動方式設定

PiPitハンディライコン



(フタを開けた状態)

- 1** PiPitハンディライコンのフタを開け『設定ボタン』を押し
アドレス・設定画面を選択する



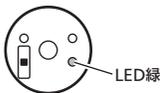
- 2** 『上下ボタン』を押しタイプを番号で入力する

※器具選択（起動方式）と番号の対応は以下の通りです。
(器具選択のタイプと起動方式の対応についての詳細はP3参照)

番号	器具選択
1	Hfタイプ
2	LRタイプ
3	PCタイプ

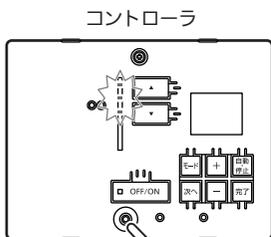
- 3** PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押し、起動方式を設定する

- 4** PiPit/PWM信号変換インターフェースのLED緑の状態が番号に応じて変化しますので確認してください



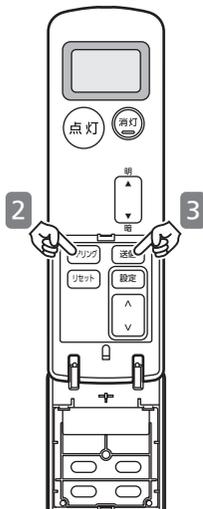
番号	LED緑
1	1回点滅
2	2回点滅
3	3回点滅

2 コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリング設定



1 4

PiPitハンディライコン



(フタを開けた状態)

- 1 コントローラの化粧カバーを外し『設定ボタン』を長押し (5秒以上) しペアリング設定状態にする

調光レベル表示灯の上3つが点滅し、信号を送信します。
※10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

- 2 PiPitハンディライコンのフタを開け『ペアリングボタン』を押す

※液晶画面に「ペアリング」が表示されます。



- 3 PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押す

※液晶画面に送信中は、「送信アイコン」が表示されます。



ペアリングが成功した場合

ビッ、ビビーと成功音が鳴ります。

ペアリングに失敗した場合

ビッ、ビビビビとエラー音が鳴ります。

- 4 『設定ボタン』を長押し (5秒以上) する

調光レベル表示灯の上3つの点滅しなくなり、通常状態に戻ります。

3 コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリング設定確認



PiPit/PWM信号変換インターフェースのLED緑が「点灯」していることを確認してください。

※LED緑が「点灯」していない場合、再度該当する組合わせの手順 **2** から、やり直してください。



※引き続き、各種コントローラの取扱説明書を参照して設定を行ってください。
(各種コントローラの取扱説明書参照)

組合せB

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)



+ コントローラ
(壁付け)

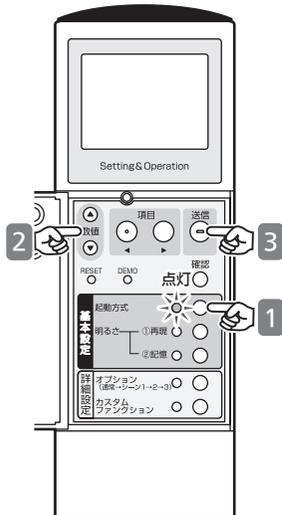


+ PiPit/PWM
信号変換
インターフェース



1 PiPit/PWM信号変換インターフェースの起動方式設定

PiPit+ハンディライコン



(フタを開けた状態)

1 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『起動方式』を押す

2 『数値ボタン』を押してタイプを番号で入力する



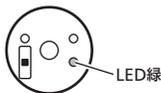
※器具選択（起動方式）と番号の対応は以下の通りです。
(器具選択のタイプと起動方式の対応についての詳細はP3参照)

番号	器具選択
01	Hfタイプ
02	LRタイプ
03	PCタイプ

※下の大きい数値が25%、40%、50%と変化しますが
ここでは関係ありません。
上の小さい数値を合わせてください

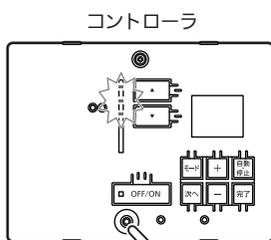
3 PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押し、起動方式を設定する

4 PiPit/PWM信号変換インターフェースのLED緑の状態が番号に応じて変化しますので確認してください。

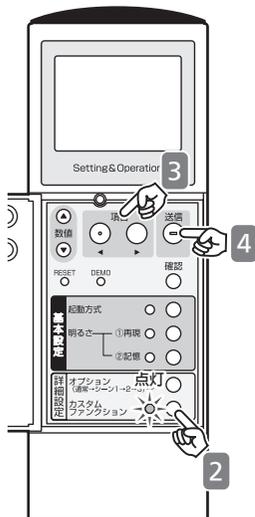


番号	LED緑
01	1回点滅
02	2回点滅
03	3回点滅

2 コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリング設定



コントローラ



（フタを開けた状態）

- 1** コントローラの化粧カバーを外し『設定ボタン』を長押し（5秒以上）しペアリング設定状態にする

調光レベル表示灯の上3つが点滅し、信号を送信します。
※10分経過すると自動で通常状態に戻ります。

- 2** PiPit+ハンディライコンのフタを開けた状態で『カスタムファンクションボタン』を押す

- 3** 『項目ボタン』を押し「20」を選択する



- 4** PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押す

ペアリングが成功した場合
ピッ、ピピー
と成功音が鳴ります。

ペアリングに失敗した場合
ピッ、ピピピピ
とエラー音が鳴ります。

- 5** 『設定ボタン』を長押し（5秒以上）する

調光レベル表示灯の上3つが点滅しなくなり、通常状態に戻ります。

3 コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリング設定確認



PiPit/PWM信号変換インターフェースのLED緑が「点灯」していることを確認してください。

※LED緑が「点灯」していない場合、再度該当する組合せの手順 **2** から、やり直してください。



※引き続き、各種コントローラを取扱説明書を参照して設定を行ってください。
（各種コントローラを取扱説明書参照）

組合せC

PiPit+
ハンディライコン
(NK23091)



コントローラ
(天井付け)

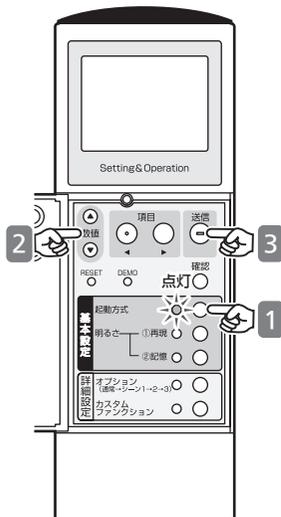


PiPit/PWM
信号変換
インターフェース



1 PiPit/PWM信号変換インターフェースの起動方式設定

PiPit+ハンディライコン



(フタを開けた状態)

1 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『起動方式』を押す

2 『数値ボタン』を押してタイプを番号で入力する



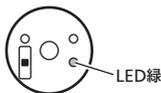
※器具選択（起動方式）と番号の対応は以下の通りです。
(器具選択のタイプと起動方式の対応についての詳細はP3参照)

番号	器具選択
01	Hfタイプ
02	LRタイプ
03	PCタイプ

※下の大きい数値が25%、40%、50%と変化しますが
ここでは関係ありません。
上の小さい数値を合わせてください

3 PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押し、起動方式を設定する

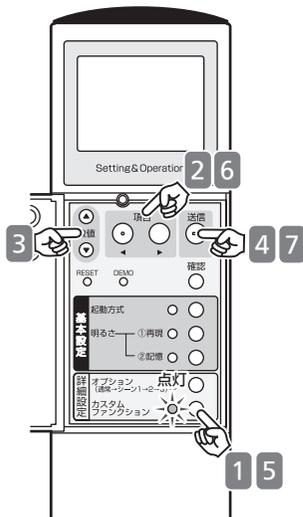
4 PiPit/PWM信号変換インターフェースのLED緑の状態が番号に応じて変化しますので確認してください。



番号	LED緑
01	1回点滅
02	2回点滅
03	3回点滅

2 コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリング設定

PiPit+ハンディライコン



(フタを開けた状態)

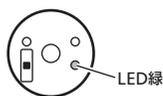


(フタを閉めた状態)

- 1 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『カスタムファンクションボタン』を押す
- 2 『項目ボタン』を押し「02」を選択する
- 3 『数値ボタン』を押し「1」を選択する
- 4 コントローラに向け『送信ボタン』を押しペアリング設定状態にする
 ペアリング設定状態中は、LED赤・緑が点滅します。
 ※ペアリング設定状態は10分経過すると自動で通常状態に戻ります。
- 5 PiPit+ハンディライコンのフタを開けた状態で『カスタムファンクションボタン』を押す
- 6 『項目ボタン』を押し「20」を選択する
- 7 PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押す

ペアリングが成功した場合	ペアリングに失敗した場合
ピッ、ピピー と成功音が鳴ります。	ピッ、ピピピピ とエラー音が鳴ります。
- 8 PiPit+ハンディライコンのフタを閉じ、コントローラに向け『自動ボタン』を押し、ペアリング設定を終了する
 コントローラのLED赤・緑が点滅が終了します

3 コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリング設定確認



PiPit/PWM信号変換インターフェースのLED緑が「点灯」していることを確認してください。

※LED緑が「点灯」していない場合、再度該当する組合わせの手順 **2** から、やり直してください。

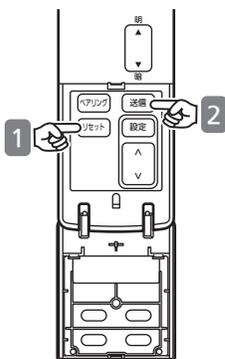


※引き続き、各種コントローラの取扱説明書を参照して設定を行ってください。
(各種コントローラの取扱説明書参照)

PiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリングを解除する

意図しないペアリング設定をしてしまった場合や、別のコントローラとペアリング設定をやり直す場合など、以下の手順で、コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリングを解除してください。

■ PiPitハンディライコンの場合



(フタを開けた状態)

1 PiPitハンディライコンのフタを開け『リセットボタン』を押す

※「リセット」が表示されます。



2 PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押す

※ 送信中は「送信アイコン」が表示されます。

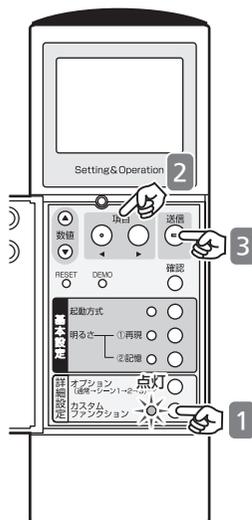


3 LED緑が消灯していることを確認してください。



■ PiPit+ハンディライコンの場合

PiPit+ハンディライコン
(NK23091)



(フタを開けた状態)

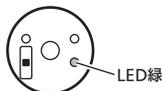
1 PiPit+ハンディライコンのフタを開け『カスタムファンクションボタン』を押す

2 『項目ボタン』を押し「12」を選択する



3 PiPit/PWM信号変換インターフェースに向け『送信ボタン』を押しペアリングを解除する

4 LED緑が消灯していることを確認してください。



困ったとき

こんなとき	考えられる原因	対処方法
コントローラとのペアリングができない	コントローラの電源が入っていない	コントローラの電源を入れてください。
	PiPit/PWM信号変換インターフェースの電源が入っていない	PiPit/PWM信号変換インターフェースの電源を入れてください。
	ハンディライコンの電池が消耗している	ハンディライコンの電池を交換してください。
	ハンディライコンの操作範囲外で操作している	PiPit/PWM信号変換インターフェースの真下から操作してください。 (ハンディライコンの操作範囲は5m以内です。)
	コントローラをペアリング設定状態にしていない	コントローラ取扱説明書に記載している内容をもう一度確認し、再度設定してください。
	他コントローラと既にペアリングされている	P12「PiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリングを解除する」をやり直してください。
コントローラとPiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリングに成功したが調光動作しない	照明器具の電源が入っていない	照明器具の電源を入れてください。
	PWM信号線が正しく接続されていない	再度、PiPit/PWM信号変換インターフェースと照明器具のPWM信号線が正しく施工されているか確認してください。
起動方式設定で、LED緑が番号に応じた点滅回数より多く見える	ペアリング状態で起動方式設定を実施している	ハンディライコンの画面表示の番号で起動方式を正しく選択しているか確認してください。
LED赤が点灯している	PWM信号線が短絡している	PWM信号線の施工を確認してください。
	規定の負荷台数を超過して使用している	規定の負荷台数以下で使用してください。
ペアリング解除をするとLED緑点滅や照明器具が明暗する	ペアリング解除のリモコン操作が間違っている	P12「PiPit/PWM信号変換インターフェースのペアリングを解除する」をやり直してください。

よくある質問

Q1 通信補助器とペアリングできますか？

- できません。コントローラとのみペアリングできます。

Q2 各種ハンディライコンをPiPit/PWM信号変換インターフェースに向けて使うことで調光できますか？

- できません。各種設定（起動方式設定、ペアリング設定・解除など）でのみ使うことができます。

Q3 ペアリングされていないPiPit/PWM信号変換インターフェースに接続された照明器具の明るさはどうなりますか？

- 100%点灯します。

Q4 PiPit/PWM信号変換インターフェースに台数制限はありますか？

- 無線通信距離範囲内であれば、PiPit/PWM信号変換インターフェースの台数に制限はありません。
ただし、同一フロア内で半径100m以内にPiPitコントローラ（通信補助器含む）を18台以下にしてください。

お手入れについて

表面の汚れは、やわらかい布で拭きとってください。水や洗剤は使わないでください。水気が機器に浸入すると故障の原因となります。また、色落ち・キズなどの原因となりますので、硬い布やシンナー、ベンジンなどは使わないでください。

安全点検について

下記の「安全チェックシート」の各項目について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目		区分	点検結果
使用状況・環境	使用期間は、10年以上である。	B	
	使用期間は、15年以上である。	A	
	累積使用時間は、40,000時間以上である。	A	
	器具の使用温度が高い。	B	
	電源電圧が高い、または低い。(定格の106%以上、94%以下)	B	
	分岐回路の絶縁抵抗は、0.2MΩ以下(200V)または0.1MΩ以下(100V)である。	A	
	取付部に常時振動が加わっている。	B	
	使用場所に水気・湿気が多い。	B	
PiPit/PWM信号変換インターフェース	使用場所に腐食性ガス(温泉・塩害を含む)、じんあいが多い。	B	
	本体・パネルなどが手で触れないくらい熱くなる。(60℃以上)	A	
	本体・パネルなどに変形・ひび割れなどがある。	A	
	めっき面などに、ふくれ・剥離などがある。またはさびが出ている。	B	
	焦げ臭いにおいがする。	A	
	可動部分(電源スイッチ・ボリュームなど)の動きが鈍い。	B	
電線に著しい変色・ひび割れなどがある。	A		
電線接続部(端子台など)が接触不良(緩み、抜けなど)を起こしている。	A		

【点検結果の判定】

- ・区分Aの○印が1個でもあれば、調査したPiPit/PWM信号変換インターフェースは劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。速やかに交換してください。
- ・区分Bの○印が1個でもあれば、調査したPiPit/PWM信号変換インターフェースは劣化状態が進行していることがあります。交換または継続的に点検してください。

上記項目以外でも不具合があれば、工事店などの専門家にご相談ください。

仕様

	NK23075	
定格電力	AC100~242V (50/60Hz)	
使用温度範囲	0~35℃	
無線制御方式	無線通信 (中心周波数927.2MHz)	
無線通信距離	見通し距離20m	
適合ハンディライコン	PiPit ハンディライコン PiPit+ハンディライコン	
適合負荷	当社製信号線式連続調光型LED器具	当社製連続調光インバータ器具
	LR, LZ, LA, LT, LH, LX, LY, LJ, LI, LD, LV	EYH, PD, PX, PY, WX, EDH
負荷台数	16台まで (ただしEDHのみ8台まで)	
PWM信号線 配線長	50m	

無線通信 (電波) に関して

- ・本器には認証済みの920MHz帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は分解・改造することは法律で禁じられています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。